

2-1-1 配置計画・動線計画

■ 新たなにぎわいを創出する市民広場

ぎふメディアコスモスと連携して、にぎわいの相乗効果を生み出すため、「みんなの広場カオカオ」をより開放的に整備するとともに、この広場に面して、市民交流スペースやレストラン、テラスなどを連続的に配置します。

また、この広場には、マンホールトイレや非常用電源などを整備し、救護活動やボランティア活動の受け入れといった防災広場としても活用します。

■ ぎふメディアコスモスの人の流れと呼応する動線計画

長良川の雄大な流れのように人々をつかさのまちに引き込み、ぎふメディアコスモスの人の流れと呼応する動線とします。

また、バス、車、自転車、徒歩など様々な交通手段による来庁者に配慮して、東西南北の4方向に出入口を設け、中央の開放的なエントランスモールに導きます。

■ 周辺環境と調和する建物形状

新庁舎と立体駐車場を当初の計画より南側に寄せ、ぎふメディアコスモスとの間隔を広げるとともに、新庁舎をスリムな形状にして、東側へ寄せて配置します。

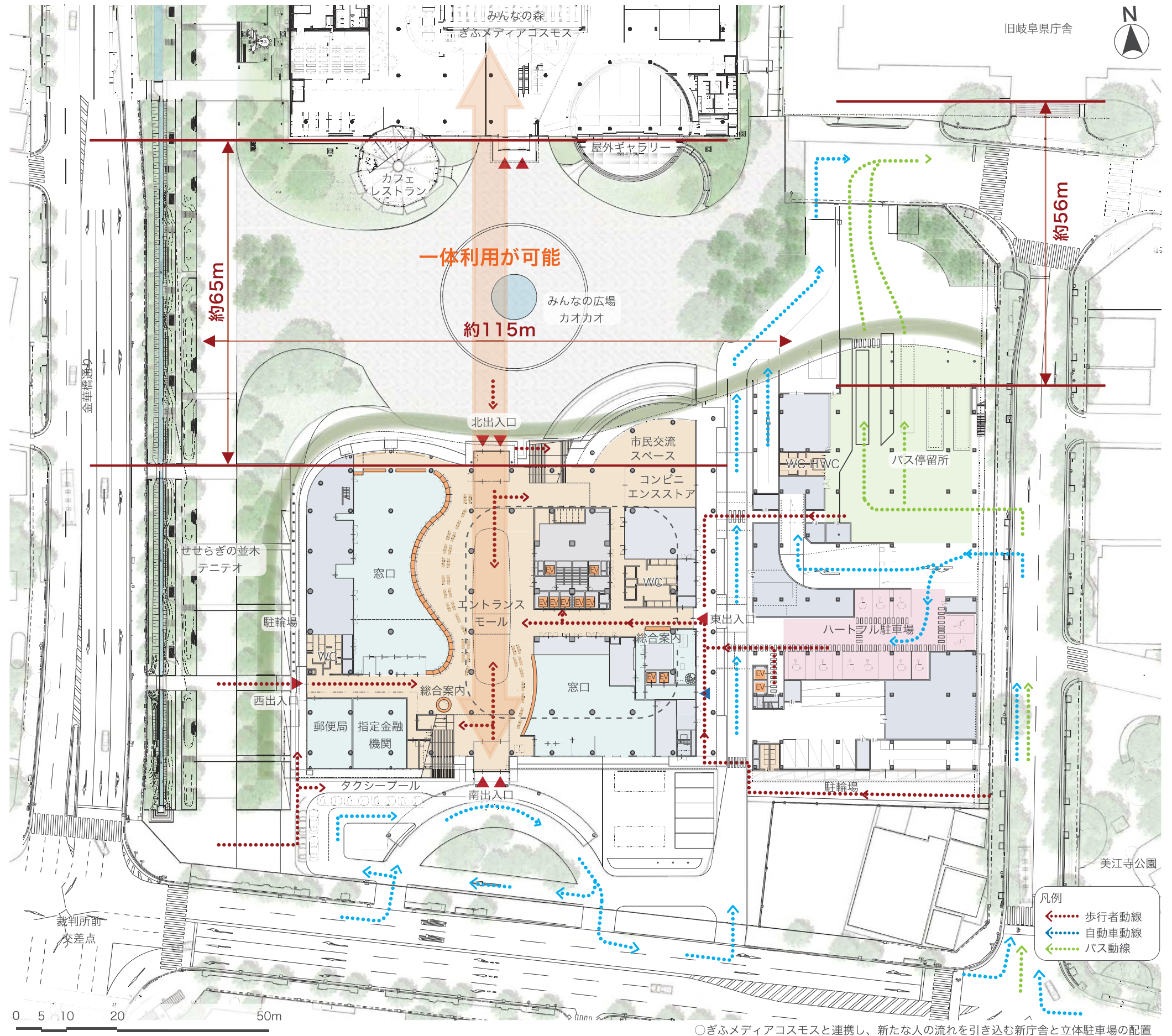
これにより、ぎふメディアコスモスやカオカオなどから、圧迫感を解消し、青空が見える開放的な空間を創出するとともに、これらの施設の日照を確保します。

また、中高層部の四方を曲線形とすることや、上部からの風が低層部の天井部分で分散することによって、広場や周辺に及ぼすビル風の影響を軽減します。

■ 利便性を高めた来庁者駐車場

新庁舎に隣接する立体駐車場は、来庁者の駐車スペースのほか、連節バスも停車できるバス停を設けるなど、様々な交通手段に対応します。

また、高齢者や障がい者、子ども連れの方々に配慮して、27台分のハートフル駐車場を設置するとともに、多目的トイレやエレベーター、雨に濡れない渡り廊下などを設けます。



○ぎふメディアコスモスと連携し、新たな人の流れを引き込む新庁舎と立体駐車場の配置